
第 87 期 (2009 年度) 事業報告書

技術と社会部門：部門長 小野寺英輝，他 31 名，運営委員会開催 2 回，総務委員会開催 6 回 (2010 年 1 月 22 日の開催予定と 10/15 発議のメール審議を含む)

- 1) 総務委員会の下に設置された 7 委員会，6 専門委員会および機械遺産委員会 (2008 年 10 月 1 日設置) で部門運営にあたった。
- 2) 2009 年度年次大会 (岩手大学) において，OS5 件 (部門単独 4 件，他部門等と合同の 1 件)，WS2 件 (部門単独 2 件) を企画・開催した。また，部門内に設置された「機械遺産委員会」によるパネル展示を含め，2 件の市民対象行事を行った。
- 3) 研究交流委員会が推薦したトピックス編集委員が，日本機械学会誌トピックスの執筆候補者を推薦した。
- 4) 広報委員会が企画と取りまとめを行ない，ホームページ委員会が掲載する体制にて，部門ニュースレター (NL) の No. 21 と No. 22 がそれぞれ 2009 年 4 月 20 日と 2009 年 12 月 31 日に部門のウェブサイトで発行された。NL の No. 21 号は当初 2 月 29 日発行予定であった。2010 年 2 月に NL の更新を予定している。
- 5) 8 月 7 日の「機械の日」に芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催された 2009 年度機械遺産認定式典において認定機械遺産 6 件を報告し，開催に協力した。
- 6) 機械遺産委員会は，2010 年度機械遺産候補の選定作業のための会議を 3 回 (2009 年 10 月 23 日，12 月 25 日，2010 年 3 月 9 日=確定) 開催した。
- 7) 技術史・工学史委員会を 4 回 (2009 年 6 月 19 日，10 月 23 日，12 月 25 日，2010 年 3 月 9 日=確定) 開催した。
- 8) 出版委員会の業務である会誌 8 月号「機械工学年鑑 第 22 章」について，1 頁の追加配分を受け 3 頁分の執筆分担を行った。
- 9) 表彰委員会が中心となり部門賞について審議し，部門業績賞 1 件を贈賞した。
- 10) 2009 年 3 月 6・7 日に開催された関東支部総会講演会に，OS「技術教育・工学教育」および「機械技術史・工学史・機械遺産」を設け，28 件の講演を行なった。
- 11) 2009 年 3 月 18 日に九州大学で開催された九州支部総会講演会に部門のセッションを設け，10 件の講演を行った。
- 12) 技術倫理委員会によって，5 月 23 日と 11 月 7 日に特別講演会「若手技術者のための技術者倫理セミナー」が明治大学秋葉原キャンパスにて開催された。
- 13) 知的財産権委員会を 2009 年 5 月 29 日，7 月 8 日，10 月 13 日，12 月 8 日に開催した。
- 14) 知的財産権委員会は 3 月 10 日，11 日に開催される関東支部総会講演会において WS の開催を予定している。
- 15) 技術と社会問題委員会が中心となりイブニングセミナーを 11 回開催した。
- 16) 日本産業技術教育学会主催の「第 12 回エネルギー利用技術作品コンテスト」の第 2 次審査委員会に審査員を派遣した。
- 17) ブルネル研究会では，①2009 年 5 月 1 日，②5 月 29 日，③6 月 26 日，④7 月 24 日，⑤9 月 25 日，⑥10 月 23 日の 6 回の研究会を行った。なお，同研究会は 10 月末に終息し，来年度は，「ブルネル・スピリット研究会」として再開の予定である。
- 18) ブルネル研究会では，ブルネル没後 150 年の記念に当たる今年度，ブルネルの蠟人形を完成させた。
- 19) 人機能支援の工学研究会の委員会を 8 月 21 日に実施した。
- 20) 人機能支援の工学研究会が，特別養護老人ホームでの聞き取り調査を 8 月下旬に 4 日間行った。
- 21) 玉川大学で 2009 年 11 月 28・29 日に開催された「第 2 回新☆エネルギーコンテスト」において部門登録者が参加をするなどの協力を行った。2010 年度から当該イベントを部門が主催することを予定している。
- 22) 交通・物流部門と部門連携活動として対象者を総務委員会もしくは幹事会メンバーに限定して合同見学会と意見交換会を 2009 年 11 月 4 日と 2010 年 2 月 12 日の 2 回実施。2009 年 11 月 4 日実施分はニュースレター No. 22 にて報告を行った。
- 23) 部門講演会を，日本設計工学会との共催で，2009 年 12 月 12 日に石川県石川郡野々市町に所在する金沢工業大学扇が丘キャンパスで開催した。
- 24) 日蘭通商 400 年記念，歴史的造船施設シンポジウム実行委員会に関連する情報を学会本部に対して

社団法人 日本機械学会

提供した.

〔所属研究会〕

A-TS 20-12 ブルネル研究会 (その人と技術史)

主査：佐藤建吉 開催：6回

A-TS 20-14 人機能支援の工学研究会

主査：高田 一 開催：1回